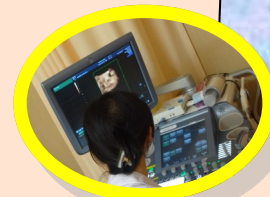




「ふれあいフェスタ」にお越しください！！



当院の産婦人科を地域の方に知って頂き、スタッフとの交流を持ってもらうことを目的に、「ふれあいフェスタ」というイベントを過去4回開催しています。妊婦さんだけでなく、これから出産を考えているという方にもぜひ参加してもらいたいイベントです。

内容としては、相談コーナー(医師・助産師・栄養士・理学療法士)や3D・4Dエコー(無料)、マタニティ・ヨガ、ベビー・マッサージなどの予約制のイベントや、病棟見学や母子健康手帳の表紙作りなど自由に参加して頂ける催しを実施しています。予約制のイベントは、ポスター掲示後、比較的早く申込みされ人気があります。

アンケートの結果では、「出産のイメージが湧いてきた」「次の出産はぜひこちらでお願いしたい」といった回答が多く寄せられています。

☆☆次回は12月20日(土)を予定しています。職員の皆さんもどんどん参加してください！！☆☆

1階北(産婦人科)病棟



<合同看護研究 産科分科会>

10月4日(土)に実施された「第3回 看護・介護研究発表会」の分野別研修会に、産婦人科分野として参加しました。

妊婦健康診査と妊婦指導を中心に、院内で実施しているマザークラス(母親学級)のプログラムを実施しました。看護の分野では、「産婦人科」は特別視される傾向を感じていましたが、妊婦さんへの指導を実際に体験してもらう事で、産婦人科看護や助産師の役割について、知ってもらう良い機会になったと思います。

妊娠・出産・育児は女性にとって一大イベントの一つです。もちろん喜びもありますが、不安を伴うことも少なくありません。対象者の思いに寄り添い、その人らしい妊娠生活を送り、出産・育児が行えるサポートができるよう、今後もスキルアップしていきたいと感じました。



助産師(浮田なな・西尾玲子)

<ご結婚の記念写真>

入院中のお父様と息子様ご夫婦が披露宴の記念写真を撮られました。新郎新婦で晴れ姿をお父様に見せたいという希望で実現しました。タキシードとウエディング姿が素敵でスタッフ一同感動しました。



産科食事紹介

昨年10月より初めて産科食に携わることとなりました。

産科オープンに向けて、近隣病院を見学させて頂き、食事に関する様々なことを勉強してきました。また、特にお祝い膳においては、院内で試食会を開き、医師・助産師・看護師らの意見を参考に、試行錯誤しながら現在の形を作り上げることができました。お陰様で御好評頂いております。栄養バランスが崩れないよう多彩な食材を用い、飽きのこない、家庭に近い食事づくりをモットーに、今後も患者様に喜んでいただけるよう努力していきたいと考えております。

栄養科一同

☆☆ 出産後のお祝い膳 ☆☆ (出産～退院までに召し上がっていただきます)



- ・赤飯
- ・和風ステーキ
- ・サーモンマリネ
- ・炊き合せ
- ・くらげ酢
- ・刺身湯葉
- ・柚子大根
- ・いくら紅白和え
- ・鯛の清まし汁
- ・季節のフルーツ

H26年度の嗜好調査 産科アンケートでは、食事の「見た目・味・総評」において、5段階評価で4または5の回答が平均81%得られ、食事に満足して頂けていることが分かりました。今後も食材の質と味にこだわった食事提供を継続していきたいと考えております。



- ・銀ムツのオイスター煮
- ・春雨サラダ
- ・里芋まんじゅう
- ・めかぶ
- ・フルーツ



- ・三色ナムル丼
- ・トマトサラダ
- ・春巻き
- ・わかめスープ
- ・フルーツゼリー



- ・きのこの和風スパゲティ
- ・野菜とウインナーのポトフ
- ・たまごサラダ
- ・フルーツ

新設シリーズ:産科豆知識 「妊娠とインフルエンザ」

インフルエンザは、急激な38℃以上の高熱・頭痛・関節痛などの症状が出現し、1～2週間で自然治癒します。妊娠中は、免疫系・循環器系などの変化により、重篤な合併症を起こしやすく、高熱によって胎児へも悪影響を及ぼすため、予防が大切です。

●予防には、ワクチン接種をおすすめします！！

インフルエンザワクチンは不活化ワクチンであり、妊婦、胎児に対して問題なく、流産や胎児奇形のリスクが上がるといった報告もありません。

妊娠全期間においてワクチン接種が可能で、ワクチン接種後、効果発現には約2～3週間を要し、その後約3～4ヶ月間、効果が持続するため、接種時期は流行シーズンが始まる10～11月が理想です。

また、授乳婦にワクチンを投与しても乳児に悪影響はありません。



<編集後記> 私も患者様と一緒にフラメンコを見せていただきました。すごい迫力で鼓動を感じました。その後記事をいただき、フラメンコのできた歴史を改めて知ることができ、とても身近に感じる事ができました。ありがとうございました。 第5号担当 浜辺玲子

～秋祭り開催～

10月16日(木)に当病院の一大行事である「秋祭り」を開催しました。

昨年は、南館一階ロビーで行いましたが、今年は屋外で行なうことになりました。患者様にお祭りの雰囲気を楽しんで頂くために様々な屋台をご用意させていただきました。金魚すくい、ヨーヨーつり、輪投げなど、車椅子の方でも楽しんで頂けるような工夫を試み、患者様は真剣な眼差しでそれらに取り組み、また楽しんでおられました。又、院内保育所「わんぱくスクエア」の園児による歌や新人職員による盆踊り、綿菓子やポップコーンなどのお菓子もありました。患者様は、園児の歌に合わせて手拍子をしたり、車椅子で盆踊りの輪に参加されたりと楽しんでおられたように思います。

当日の天候で、やや肌寒く、患者様には、十分な時間を楽しんでいただけなかったのではないかと反省があり、今後は開催時期を検討し企画する予定にしています。



オムツフィッター???

一言で「排泄」と言っても、例えば、男性の排尿時は立って？座って？トイレトペーパーの使う量は？お尻を拭くときは前後どちらから？使用している下着の種類は？(男性だとトランクス、フリース、ボクサーパンツ等)、個性が高いものです。排泄は、毎日、複数回、他者に見られることなく行われる、人が生きるために不可欠なことです。当たり前のことに、何らかの支障が生じると、本人も周囲の人もその対応に困り、誰に相談すれば良いかもわかりづらいのではないのでしょうか？



おむつフィッターは「排泄の困り事に対して、おむつを含む排泄用具はもとより、医療や住環境、食事など幅広い視点からアドバイスできる排泄ケアのスペシャリスト」で、[むつき庵]の認定資格です。人が最も触れられたくないところにかかわるケアのお役に立てる情報発信が出来ればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「小児科予防接種のご案内」

平成26年10月7日(火)より、予防接種枠が拡大しました。

従来の水曜日の予防接種枠の他に新たに**火曜日、木曜日**の**13:00～15:30**の時間枠が**追加**になりました。

	月	火	水	木	金	土	診療時間
午前	恵谷 /岡本	尾崎(12月末迄) /岡本	恵谷 /岡本	尾崎(12月末迄) /岡本	岡本	-	受付時間 8:30～11:30 診療時間 9:00～
午後	-	★岡本 (予約)	★恵谷 (予約)	★岡本 (予約)	-	-	受付時間 12:15～15:30 診療時間 13:00～

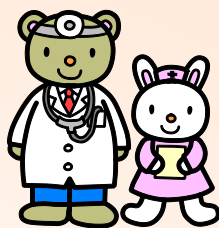
★は、予防接種・アレルギー外来となり、完全予約制となります。 ☆は、予防接種となり、完全予約制となります。

■インフルエンザ予防接種のご案内

平成26年10月3日(金)より、インフルエンザ予防接種の予約を開始致しました。接種は平成26年10月20日(月)から開始しております。(完全予約制)

■お問い合わせ・予約について

平日 14:00～17:00 土曜日 9:00～12:00
問い合わせ先 072-758-1123



「回復期リハビリテーション特集」

週刊朝日8月8日号の「回復期リハビリのいい病院533」に掲載されました。

医療法人 協和会

第二協立病院

退院後の生活に配慮したリハビリテーション

地域の高いニーズに応えるべく、回復期リハビリテーション病棟は151床まで増床し、お一人でも多くの患者様に早期よりリハビリテーションを受けて頂ける体制を整えました。また、集中的なリハビリを目的に、560㎡を超える広々とした明るいろりハビリ室で、総勢76名(PT46名、OT16名、ST14名)のセラピストが対応しております。

患者様の退院後の生活を考え、実際の生活面を想定したリハビリテーションを提供する事で、ご自宅での動作確認や家屋改修の提案などをさせて頂く家屋訪問や、家事動作や買い物練習、電車やバスなどを使った屋外練習など、実生活を

【診療科目】内科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、産婦人科、小児科

【病床数】425床

【診療時間】平日9:00～17:00

【休診日】土・日・祝

〒666-0333 兵庫県川西市栄町5番28号

TEL. 072-758-1123

http://www.kyowakai.com/



想定した実践練習をしています。また、定期的に行うカンファレンスではご家族も参加して頂くことで、個別のニーズに合わせたリハビリテーション計画を作成させていただいております。

これからもお一人でも多くの患者様が笑顔で地域に戻れるような回復期リハビリテーションを目指したいと思っております。



週刊朝日8月8日号より引用

フラメンコイベント開催

8階南病棟 松田千春

2014年9月11日に8階の緩和病棟でフラメンコのイベントを行いました。私がイベントを行いたいと思ったのは、フラメンコは、「人生そのもの(人の生きる道)」を表しているものだからです。そもそもフラメンコとは1000年もの昔、インドからジプシーが渡り歩いていくうちにインド、トルコ、アラブ、ヨーロッパの音楽や文化が加わりそこに留まったジプシーたちの歌に踊りが加わっていき、スペインの南で長く住んでいるジプシーたちの歌と踊りがフラメンコに完成したのです。生活に密着したその歌に手拍子や踊り、そして最後にギターが奏でるようになりました。

フラメンコの歌には、人生の悲しみ苦しき喜びが込められており、言葉が違えどその感情の表現は、どの世界の人にも伝わり心にしみこむものとなりました。地球のほぼ裏側の私達日本人の心に特に入り込み、それはきっと演歌に繋がっているからだと言われます。

「感情=生きている」…その「血が騒ぐ」という鼓動を経験してもらいたいと思いこの度企画し病棟の皆さん、フラメンコ仲間の協力で叶えることが出来ました。

